

21世紀の日光：こころしたい

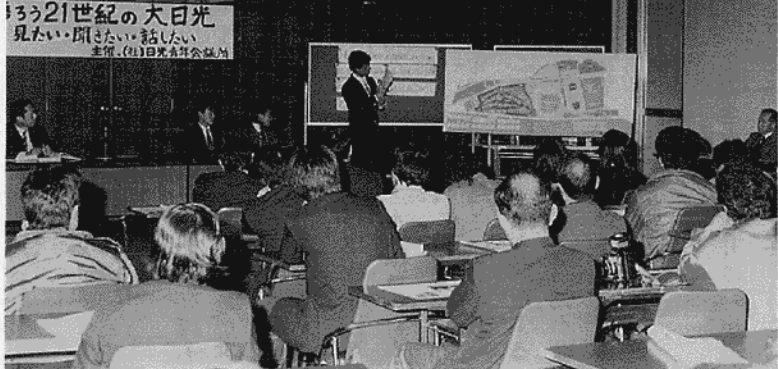
若者が意見を交換

十一月五日午後六時から三

時間、総合会館で、日光青年会議所主催によるパネルディスカッション「語ろう!! 21世紀の大日光」が、日光・足尾の若者約八十人が参加して行

われました。

最初に、日光青年会議所の自主講座「カルチャー12」に参加した若者たちが「地域活性化のためにはどうしたらよいか——」と、それぞれの班でまとめた活動報告が行われました。



第一班は、所野運動公園を中心とした開発理想像。第二班は、観光客に市内を歩いてもらうためのアンケート調査。第三班は、文化財を見直して、いままでとは違った文化財のアピール方法——を、グラフィックイラストを使って発表。続いて、日光青年会議所の吉新指導力開発委員長ら四人がパネリストになって、各班の報告に対する意見交換が行われました。参加者から、住みよい街づくりに対するホットな意見が続出、有意義な話し合いの場となりました。



球根、葉ぼたんをプレゼント

日光植物愛好会

日光植物愛好会は、十一月十日、春と秋に行ったチャリティー山草展の収益金で、市内の中学校四校と今市養護学校にチューリップの球根千五百個と葉ぼたん百十鉢をプレゼントしました。

これは、同愛好会が、小、中学校を美しい花で飾り、花を愛する心を育ててもらおうと、実施しているもので今年で六年目。

今市養護学校では、愛好会の会員四人が、児童、生徒といっしょにチューリップの球根を植え付けました。

来年四月下旬には、赤と黄色のチューリップでいっぱいになることでしょう。

日光市文化祭

力作、秀作がズラリ

第三十七回日光市文化祭が、十一月十四から十六日までの三日間、総合会館、東照宮研修会館で開かれました。

書道、絵画など二千二百点がロビー、会議室に展示され、大勢の市民でにぎわいをみせました。

十五日には、総合会館前広場で、農林産物の直売会が行われ、新鮮で安い野菜が飛ぶように売れていました。

年々文化祭は盛んになり、市民の間に文化活動の広がりをみせています。

